

自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

・いずれの項目も、おおむね良好と捉えられている。

B利用者への支援内容

・ニーズに応えられているか、また、支援の成果が学校や家庭での生活に表れているか、についてどちらともいえない、との回答があった。

C関係機関との連携

・学校、他機関との連携が不足していると感じている。

D保護者への説明責任・信頼関係

・面談での聴取内容を支援に活かしているか、について評価が低い。

E非常時対応

・ヒヤリハット体験についての共有、対策についての評価が低い。

保護者による評価

A環境面

・いずれの項目も、おおむね良好と捉えられている。

B利用者への支援内容

・おおむね良好な評価であった。

C事業所からの情報発信

・学校、他機関との連携が不足していると感じている。面談、学習報告、および児発管などへの相談について評価が低い。

D非常時対応

・おおむね良好な評価。緊急のお知らせは実施なし。

事業所内での分析

【共通点】

昨年に引き続き、面談、保護者対象イベント、他機関との連携など、コロナの流行により時に実施が困難になる事項についての評価が低い。

【相違点】

支援内容について保護者は概ね良好と捉えている一方、職員は行っている内容について「これで良いのか」と感じている傾向が見られた。

分析・検証してみた

事業所の強み

昨年同様、日常の支援活動については、保護者、職員共に高い満足度が得られている結果となった。

事業所の改善点

- ・昨年に引き続き、他機関との連携において不足感が強い。
- ・面談、保護者対象イベント、および学習報告での評価が低い。

事業所の改善への取り組み

- ・他機関との連携を進めるとともに、その周知を行うこと。
- ・学習報告をより丁寧に行うこと。
- ・面談、保護者対象イベントといった、コロナ流行状態において実施が難しい事項について、状況を見つつ再開していくこと。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

学校や他機関との連携については、区役所や相談支援が入っている児童についてはカンファレンス等が適宜行われ、有意義な内容となっている。他機関は必要に応じて要請できると考えるが、学校についてはこちらからの要請を受けていただけるか否か、不明なところがある。過去にも断られたケースがあったため。

職員において、支援内容の成果について迷いがある状況が見えた。これまでコロナの影響などにより保護者面談が十分に実施できていなかったが、4月より順次面談を再開し、また保護者会などのイベントも再開することにより、より多く職員と保護者がコミュニケーションを取る機会を持ち、相互理解を深めたい。学習報告についても保護者の希望に基づき、適切に行いたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス 金沢教室

担当者 平田 雄也